

網津公民館だより

令和 6 年
11 月号

秋の気配を感じる季節となりました。 公民館だより 11 月号をお届けします。

＜第 3 回成人講座：大人の折り紙教室＞

9 月 21 日（土）開催

第 3 回成人講座は、9 月 21 日（土）地元の折り紙愛好家・岩村有市さんを講師に迎え 5 名の参加者を得て「大人の折り紙教室」を開催しました。

今回折ったのは「おしゃべりなくちびる」「つるのお年玉袋」「羽ばたく雉」の 3 種類。岩村さんの教え方はまさに「手取り足取り」、丁寧な口調で的確なアドバイス。「先生の手は魔法みたい」誰かのつぶやきが心に残りました。

「上達の秘訣は何ですか？」と尋ねたら、「慣れですよ、慣れ」シンプルな答えが返ってきました。「ミスターマリック」ならぬ「ミスターオレック」また、親指を入れて折り返すなど、高等テクニックもたくさん教えて頂きました。

折り紙は、折り重ねるわけではない。折り目を付けてほどこいていく。この繰り返しで形を作っていく。何か人生を教えて貰っているような錯覚を覚えました。



＜第 4 回成人講座：熊本地震震災ミュージアム視察研修＞

10 月 5 日（土）開催

第 4 回成人講座は、10 月 5 日（土）婦人会とのコラボで熊本地震震災ミュージアムの研修視察を行いました。市のマイクロバスを借り参加したのは 19 名。

10 時にミュージアムに到着し、まず地震の記録映画を視聴。この中には宇土市役所の無残な姿も映し出されていました。

次に地震の悲惨さを集めた写真コーナー、ジオラマ模型を使つての活断層や液状化の話など。最後に断層が走った東海大学農学部校舎の見学。この建物は地震の惨状を後世に残すために保存されているものでした。めくれ上がったタイルやねじれた鉄骨、この世のものとは思われない惨状に一同息をのみました。

ガイドさんの言葉が耳に残っています。「人間は 72 時間水を飲まないで死ぬ」「5 年に 1 回の割合で震度 7 以上の地震が日本のどこかで起こっている」などなど。防災対策の必要性を再確認した一日でした。



＜第 5 回生涯学習講座：俳句を楽しむ会＞

10 月 9 日（水）開催

第 5 回生涯学習講座「俳句を楽しむ会」は 10 月 9 日（水）10 時から 7 名の参加者で開催しました。今月の兼題は「月」、持ち寄られた作品 20 句を各自読み上げ、作った動機・情景・場所を発表しました。主だった作品は、以下の通り。

「月明り 駅まで照らす 道しるべ」「満月や ガザ・能登の子へ おくりもの」「幼き日 月の砂漠は 夢の国」「病んだ目に くっきり浮かぶ 三重の月」「雨上がり 鳴く虫の声 草の花」「月と星 妻と私を 眺めてる」など。

また、ブレバト俳句で千原ジュニアさんが読んだ「故郷の 首蓆（もくしゅく）の香は 濃かりけり」（※季語の首蓆はクローバーの事です）も注目を集めました。

さて、嬉しいニュースが飛び込んできました

会員の伊勢晃子さんが、9 月 23 日の熊日新聞読者文芸欄俳句部門で見事入選されました。日頃の研鑽が実を結んだと思います。おめでとうございます。

入選作は「田仕事の 人の頭に 白い月」です。



＜第 3 回青空教室：ふれあいグラウンドゴルフ＞

10 月 12 日（土）開催

第 3 回青空教室「ふれあいグラウンドゴルフ」は、10 月 12 日（土）、晴れ渡った青空のもと午前 10 時から網津地区グラウンドで行いました。集まったのは 8 名の子供たち。講師はレインボー（老人クラブ）の 4 名の方です。

子供たち全員初心者のため、クラブの握り方、ボールの打ち方など基本的なことを学び実践練習を行いました。その後 3 班に分かれて本番の 3 ホールマッチ。

講師の皆さんは、孫に接するような優しい言葉「うまいよ！」「ナイス！」などを連発。和やかにプレーは進み、1 年生の男の子がホールインワンを達成した時には、ひと際大きな歓声が上がりました。

子供たちからは「楽しかった」「またやりたい」などの声が寄せられました。



☆ 11 月の予定 ☆

第 5 回成人講座：ハンセン病患者とその家族の人権について 講師＝藤井 慶峰さん（11 月 2 日）

第 6 回生涯学習講座：俳句を楽しむ会 講師＝伊勢 聡さん（11 月 13 日）

第 4 回青空教室：親子マジック教室 講師＝向井 明彦さん（11 月 16 日）

＜館長からのメッセージ＞

9 月 23 日 NHK の朝ドラ「虎と翼」で 14 分経過した場面に次の言葉が出てきました。「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」

ご存じ、日本国憲法第 14 条第 1 項の条文です。このドラマは女性裁判官の人生を描いた作品ですが、特に憲法 14 条の内容について考えさせられることが多いと思います。差別、人権について、もう一度考えてみたいと思い記載いたしました。

網津公民館 ☎ 0964-25-0500（月～土の午前中）